

高松海岸の生きもの観察



ヤマトオサガニは泥質を好む。眼だけ潜望鏡のように出す。



ベンケイガニは眼の後に刻



アシハラガニは青と黄色の色調が特徴。



ヒメアシハラガニは肉食性が強い。



チゴガニは砂泥質を好む。ダンスをする。



コマツキガニは砂質を好む。ダンスをする。



クシテガニは希少種。はさみに8個ぐらいの突起がある。



クロベンケイガニは紫色が特徴。



ハクセンシオマネキの雄は左右どちらかのハサミが巨大になる。



トビハゼは今や貴重品。泥質を好み、水面をはねて移動する。



エビジャコは砂と同じ色。



ソトオリガイは砂泥質を好む。



アラムシロは海の掃除屋さん。死体に集まる。



イソジミは25cm×25cmの面積にもたくさんいる。



アサリと外洋性のヒメアサリ(内面オレンジ色)は水管を長く伸ばす。



ユウシオガイは1cm程のピンク色。早潜りの名人。



アマモは種子植物が海に適応した。